

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

唐津市立湊中学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

(1) 教科に関する調査

今年度は〔国語、数学、英語〕の教科で実施

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

教科に関する調査結果及び考察

1. 国語

全体では、全国平均よりも上回っていて、全体的に無回答率も低く、よくできている。ただ、「我が国の言語文化」が全国平均より下回っている。古典分野の基礎定着と条件を満たして文章を書くことに課題がある。

○ 学力向上のための取組み

【学校では】

- 表現力につながるよう、語彙力を身につけるような学習を取り組ませます。
- 単元のまとめの段階で、条件を示して、文章でまとめる課題に取り組ませます。

【ご家庭では】

- 自分の考えを答えるような問いかけや言葉かけをしてください。
- 読書に親しむような環境をつくってください。

2. 数 学

全体では、県平均より下回っている。関数の分野では、県平均を上回っており、関数の式や表、グラフの理解ができていると考えられる。しかし、図形やデータの活用は、正答率が低い。今後の課題としては、読解力や証明のしくみを理解することが必要であると考えられる。

○ 学力向上のための取組み

【学校では】

- 学び合い活動をルーティン化し、自分の考えを表現する機会を増やします。
- 小テストを実施し、こまめに自分の力を再確認する機会を設けます。

【ご家庭では】

- 授業で習ったことをその日のうちに数問で良いので、問題集で復習するように声掛けをお願いします。

3. 英 語

全国平均を上回っている。短文でのやりとりは正答率が高いが、まとまった英文や読み取りはやや低い。

○ 学力向上のための取組み

【学校では】

- 現在ルーティン化しているものを、さらにできるだけ長い英文で見ないで言ったり書いたりできるような表現力を高めていきます。
- 4技能をバランスよく身につけさせる指導を継続させます。

【ご家庭では】

- 授業で習ったことや本文の音読、問題集を解くなど、その日のうちに復習するように声掛けをお願いします。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

教科の平均正答率と質問紙調査のクロス集計結果より

○正答率が高い生徒の傾向

① 朝食を毎日食べている
② 自分とは違う意見について考えるのは楽しいと感じる
③ 自分で計画を立てて勉強をしている
④ 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、 資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた
⑤ 授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた